ご使用の前にお読みください

このたびは、キヤノン製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用前に必ず「安全にお使いいただくために」をお読みください。

本機を正しくお使いいただくために、あらかじめ知っておいていただきたいことを説明しています。

お読みになった後は本書を将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

※本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

■目次

1.取扱説明書について 1

2.本製品について 2

3.安全にお使いいただくために 4

4.付録 9

1.取扱説明書について

https://oip.manual.canon/でご覧いただくことができます。

本機の全機能は、ユーザーズガイドで説明しています。
https://go.oip.manual.canon/?rid=NtDudhr0
でご覧いただくことができます。

■製品名称について

本機の取扱説明書は、imageRUNNER ADVANCE C5560F II / C5560F / C5560 II / C5560 / C5550F II / C5550F / C5550 II / C5550 / C5540F II / C5540F / C5540 II / C5540 / C5535F II / C5535F / C5535 II / C5535を流用しています。

製品名称は、imageRUNNER ADVANCE C5560F-R/C5550F-R/C5540F-R と読み替えてご使用ください。

■取扱説明書の種類と内容について

本機では、以下のマニュアルを提供しています。目的と用途に合わせてご参照ください。

ご使用の前にお読みください(本マニュアル)

「ユーザーズガイド」の内容と異なる部分について説明しています。

ユーザーズガイド (最新_機能追加のお知らせ)

本機はファームウェアのアップデートにより、機能追加／仕様変更が行われております。本マニュアルでは、「ユーザーズガイド」および関連マニュアルに記載されていない追加機能や変更内容について説明しています。

ユーザーズガイド

Webブラウザーを使って閲覧するマニュアルで、本機のすべての機能を説明しています。使用目的から調べたり、キーワードを入力して目的のページを検索したりできます。

かんたん操作ガイド（ユーザーズガイド＞付録＞マニュアルの種類と内容参照）

基本的な操作について、わかりやすく説明しています。

お困りごと解決ガイド（ユーザーズガイド＞付録＞マニュアルの種類と内容参照）

困ったときに読むガイドです。お困りごとについての解決方法を、わかりやすく説明しています。

■本製品のオプションについて

取扱説明書の本文中に記載されているオプションのうち、本製品に対応しているのは以下のものです。

- コピーカードリーダー取付キット・B5
- カードセット・A1（1 ～ 30番）
- カードセット・A2（31 ～ 100番）
- カードセット・A3（101 ～ 200番）
- カードセット・A4（201 ～ 300番）
- カードセット・A5（301 ～ 500番）
- コピーカードリーダー・F1
- インナーフィニッシャー・H1
- ユーティリティトレイ・B1
- ICカードリーダーボックス・C2[*1]
- ステイプル・P1
- ADFアクセスハンドル・A1
- スタンプインクカートリッジ・C1
- リーダーヒーターキット・J5[*2]
- 地震対策キット・A1
- コピートレイ・J2
- インナー2ウェイトレイ・J1
- 中綴じフィニッシャー・Y1
- バッファパスユニット・L1
- G3回線増設キット（2回線）・AS1R[*3]
- IPファクス拡張キット・B1
- LIPS V拡張キット・BF1
- PS拡張キット・BF1
- PCLバーコードプリント拡張キット・D1
- PCLエミュレーション拡張キット・AS1

*1 取扱説明書ではICカードリーダーボックス・C1と記載されています。製品名称を読み替えてご使用ください。

*2 取扱説明書ではリーダーヒーターキット・J2と記載されています。製品名称を読み替えてご使用ください。

*3 取扱説明書ではG3回線増設キット（2回線）・AS1と記載されています。製品名称を読み替えてご使用ください。

プリンター専用モデルをご使用のお客様へ

プリンター専用モデルでは「リーダーヒーターキット・J5」のみに対応しております。

2.本製品について

■ドライバーソフトウェアおよび対応OSについて

本製品にはドライバーが同梱されていません。

キヤノンホームページ（https://canon.jp/download/）に掲載されたドライバーをダウンロードしてご利用ください。

対応OSはホームページでご確認ください。

ドライバーダウンロード時の対応機種は、「imageRUNNER ADVANCE C5560F-R/C5550F-R/C5540F-R」を選択してください。

■本製品のエネルギー消費効率について

本製品のエネルギー消費効率*は、以下のとおりです。

imageRUNNER ADVANCE C5560F-R：161 kWh/ 年
（区分名：複合機b）

imageRUNNER ADVANCE C5550F-R：130 kWh/ 年
（区分名：複合機b）

imageRUNNER ADVANCE C5540F-R：106 kWh/ 年
（区分名：複合機a）

* 省エネ法（平成25年3月1日付）で定められた測定方法による数値

Memo

3.安全にお使いいただくために

お使いになる人やほかの人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載しています。本機をお使いになる前によくお読みいただき、正しくお使いください。ユーザーズガイドおよび本マニュアルに記載されていないことは行なわないでください。ユーザーズガイドおよび本マニュアルの記載に従わない使いかた、不適切な使いかた、弊社および弊社指定以外の第三者による修理／変更などによって生じた障害の責任は負いかねますのでご了承ください。

- ユーザーズガイドには本マニュアルと同じ内容の記載がありますが、本マニュアルの内容が最新となっています。

⚠警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

⚠注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

ご注意

操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルや故障、物的損害を防ぐために、必ずお読みください。

●化学安全情報について

製品の安全データシート（SDS）はhttps://canon.jp/ecology/にて提供しております。

●設置について

本機を安全かつ快適にお使いいただくために、次の注意事項をよくお読みいただき、適切な場所に設置してください。

⚠警告

火災や感電の原因となる場所には設置しない

- 通気口をふさぐ恐れのある場所（壁の近く、ベッド、ソファー、毛足の長いじゅうたんの上など）
- 湿気やホコリの多い場所
- 屋外や直射日光の当たる場所
- 高温になる場所
- 火気のある場所
- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近く

その他の警告

- 本機の接続部には、定められたもの以外は接続しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- アクセサリーなどの金属や、液体の入った容器を本機の上に置かないでください。異物が内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になることがあります。
- 万一、本機の内部に異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または担当サービスにご連絡ください。

⚠注意

次のような場所には設置しない

落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。

- 不安定な場所
- 振動のある場所

ストッパーについて（付属製品のみ）

設置したあとは、本製品固定用のストッパーは外さないでください。本製品が動いたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。

ご注意

次のような場所には設置しない

故障の原因になることがあります。

- 低温、低湿または高温、高湿の場所
- 急激な温度変化や湿度変化がある場所
- 磁気や電磁波を発生する機器に近い場所
- 実験室など、化学反応が生ずる場所
- 空気中に、腐食性または毒性のガスを含んでいるような場所
- 本機の重みによってゆがみや沈みが起きる可能性のある場所（じゅうたん／畳の上など）

風通しの悪い場所には設置しない

本機の使用中は、オゾンなどが発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさない程度です。ただし、換気の悪い場所で長時間使用する場合や、大量に印刷する場合には、快適な作業環境を保つため、部屋の換気をするようにしてください。また、本機からの排気が人体に直接当たる場所には設置しないでください。

結露の発生する場所には設置しない

部屋を急に暖めたり、温度や湿度が低い場所から高い場所へ本機を移動させたりすると、本体内部に水滴（結露）が発生することがあります。そのまま使用すると紙づまり、印字不良、故障などの原因になることがありますので、2時間以上放置して周囲の温度や湿度に慣らしてからご使用ください。

コンピューターなどの電子機器や精密機械の近くには設置しない

電気的な原因や動作時の振動により、電子機器、精密機器などに悪影響を与えることがあります。

テレビ、ラジオなどの電子機器の近くには設置しない

テレビやラジオ、オーディオ機器に、画面のチラつきや雑音の発生などの受信障害が生じることがあります。本機とは別系統の電源を使用し、離して設置してください。

人感センサーについて

本機の人感センサー付近に物体が置かれたり、本機以外のセンサー搭載機器（センサーライトなど）に干渉されたりする環境や、あるいは人や物が多く行き交う場所への本機設置は、人感センサーの動作が不安定になる可能性があります。

人感センサーに問題があると感じた場合は、設定/登録⇒＜環境設定＞⇒＜タイマー/電力設定＞⇒＜人感センサーを使用＞の中の＜センサーの感度＞で感度を変更してください。

海抜3000m以上の高地の場合

ハードディスク等のストレージ機器を搭載している製品は、高地（海抜3000m以上）で使用すると、正常に動作できない場合があります。

電話回線について

電話回線の抵抗値と本機の抵抗値の合計が1700Ωを超える場合など、電話回線や地域などの条件によって通信できないことがあります。このようなときには、販売店または担当サービスにご連絡ください。本機はNTTのアナログ回線に準拠しており、一般の加入電話回線のみに接続できます。ビジネスホンなどを接続している専用回線に接続すると故障の原因となる場合があります。必ず回線を確認してから接続してください。

無線LANを利用するとき

- 無線LANルーターとの距離が50m以内の場所に設置してください。
- できるだけ遮蔽物のない場所に設置してください。壁越しやフロア間の通信は、接続しにくくなります。
- デジタルコードレス電話機や電子レンジなどの電波を発生する機器からできるだけ離して設置してください。
- 医療用機器の近くで使用しないでください。本機からの電波が医療用機器に影響を及ぼし、誤動作による事故の原因になることがあります。

稼働音が気になる場合

お客様の使用環境や動作モードにより、稼働音が気になる場合は、事務所とは別の場所に設置することをおすすめします。

移動の際はご連絡を

本機の移動は、お客様ご自身で行わず、必ず販売店または担当サービスにご連絡ください。

●電源について

⚠警告

- 仕様外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 付属の電源コードを用いて本機を確実にアース端子付きコンセントに接続してください。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 付属の電源コードは本機専用です。他の機器に使用しないでください。
- 電源コードを傷つける、加工する、引っ張る、無理に曲げる、などの行為はしないでください。また、電源コードに重いものをのせないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になることがあります。
- タコ足配線をしたり、延長コードを使用したりしないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグはコンセントの奥までしっかりと差し込んでください。電源プラグがしっかり差し込まれていないと、火災や感電の原因になることがあります。
- 雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災、感電、故障の原因になることがあります。
- 本機への電源供給が安全であること、安定電圧であることを確認してください。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になることがあります。

次のような取り扱いは避けてください。

電源コネクタが接続される本機の差込口にストレスが強くかかると、本機の内部で断線や接触不良が発生し、故障や火災の原因になることがあります。

- 電源コネクタを頻繁に抜き差しする
- 電源コードに足を引っ掛ける
- 電源コードが電源コネクタ付近で曲げられ、本機の差込口に継続的なストレスがかかっている
- 電源コネクタに強い衝撃を加える

アース線を接続してください

- コンセントのアース端子に、アース線を接続してください。アース線を接続していないと、万一漏電した場合に感電の恐れがあります。コンセントにアース端子がない場合は、接地工事（D種）が行われているアース端子に接続してください。
- アース線を接続する場合は、必ず電源プラグをコンセントに接続する前に行ってください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

次の場所にはアース線を絶対に接続しない

- 水道管：配管の一部がプラスティックの場合、アースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管には接続できます。
- ガス管：ガス爆発や火災の原因になることがあります。
- 電話線のアースや避雷針：落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になることがあります。

⚠注意

非常時にすぐ電源プラグが抜けるように、本機をコンセントの近くに設置し、電源プラグの周囲に物を置かないでください。

ご注意

電源を接続するとき

- 電源コードを無停電電源に接続しないでください。停電発生時に誤動作や故障の原因になることがあります。
- 複数の接続口を持つコンセントに本機を接続した場合、残りの接続口にはほかの機器を接続しないでください。
- パソコン本体の補助コンセントに本機の電源コードを接続しないでください。
- 屋内漏電ブレーカーを介して配線されているコンセントの使用を推奨します。

その他の注意事項

- 電気的なノイズは、本機の誤動作、あるいはデータ消失の原因になることがあります。
- お使いの電源についてご不明な点は、電力会社またはお近くの電気店などにご相談ください。

●取り扱いについて

⚠警告

- 異音・異臭がする、発熱・発煙している、部品が破損しているなどの場合は直ちに電源プラグをコンセントから抜き、販売店または担当サービスにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電、けがの原因になることがあります。
- 本機を分解、改造しないでください。内部には高圧・高温の部分があり、火災や感電の原因になることがあります。
- 電源コード、ケーブル類、製品内部のギア、電気部品などに子供の手が届かないよう注意してください。思わぬ事故の原因になることがあります。
- 本機の近くで可燃性スプレーなどを使用しないでください。ガスなどの異物が本機内部の電気部品などに付着すると、火災や感電の原因になることがあります。
- 本機を移動させる場合は、必ず本機の電源を切ってから、電源プラグを抜き、インターフェイスケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインターフェイスケーブルが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグをコンセントに接続している状態でUSBケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になることがあります。

心臓ペースメーカーをご使用の方へ

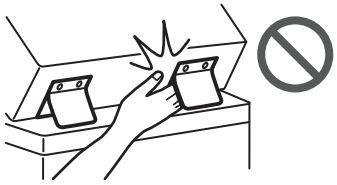
本機から微弱な磁気や超音波が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたら本機から離れ、医師にご相談ください。

⚠注意

- 本機の上に重いものを置かないでください。置いたものが倒れたり、落ちたりしてけがの原因になることがあります。
- 長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 開閉部を操作するときは、手を挟まないようにしてください。けがの原因になることがあります。
- 排紙部のローラーに触らないでください。巻き込まれて、けがの原因になることがあります。
- 使用直後は、内部や排紙口が高温になります。また、連続印刷すると用紙が熱くなることがありますので、取り扱いには注意してください。やけどの原因になることがあります。
- 紙づまりを取り除く際などは、本体内部に無理に手を入れないでください。けがの原因になることがあります。

フィーダーについて

- 原稿台ガラスに厚い本などをセットしてコピーするときは、フィーダーを強く押さないでください。原稿台ガラスが破損してけがの原因になることがあります。
- フィーダーは、手を挟まないように静かに閉じてください。けがの原因になることがあります。
- フィーダーの奥に手や指を差し入れないでください。挟んでけがをする恐れがあります。



フィニッシャーについて

- フィニッシャーを装着しているときは、トレイ内のホチキスされる場所やローラー部に手を入れないでください。特にホチキス針にはご注意ください。けがの原因になることがあります。

カセットについて

- カセットを引き抜いた状態で、本体内部に手を入れないでください。けがの原因になることがあります。

節電キーについて

夜間など本機を長時間ご使用にならないときは、安全のため節電キーを押してください。また、連休などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源を切ってから、電源プラグを抜いてください。

レーザー光について

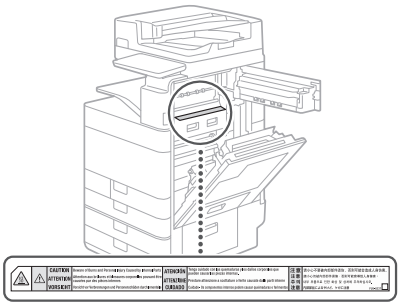
この製品はIEC60825-1:2014およびEN60825-1:2014においてクラス1レーザー製品であることを確認しています。レーザー光は、人体に有害となる恐れがあります。そのため本機では、レーザー光はカバーや外装で遮蔽されており、お客様が通常の操作をする場合にはレーザー光が漏れる心配はまったくありません。安全のために以下の注意事項を必ずお守りください。

- このマニュアルで指示された以外のカバーは、絶対に開けないでください。
- マニュアルで規定された、制御、調整および操作手順以外のご利用は、危険な放射線の露出を引き起こす可能性があります。万一、レーザー光が漏れて目に入った場合、目に障害が起こる原因になることがあります。

レーザー光の注意表示

定着器について

本体内部の定着器周辺は、使用中に高温になります。紙づまり処理などで内部点検するときは、定着器周辺に触れないように点検してください。やけどの原因になることがあります。また、定着器周辺に直接触れなくても、定着器周辺の熱に長時間さらされないように注意してください。低温やけどの原因になることがあります。



ご注意

- 本機にあるラベルなどの注意表示に従ってください。
- 本機に強い衝撃や振動を与えないでください。
- 開閉部を無理に開け閉めしないでください。故障の原因になることがあります。
- 動作中に電源スイッチを切ったり、本機のカバーを開けたりしないでください。紙づまりの原因になります。
- モジュラーケーブル、USBケーブルには、3m以内の長さのものを使用してください。

●安全規格関連の注意マーク

	電源スイッチオン（入り）
	電源スイッチオフ（切り）
	スタンバイ（待機状態）
	プッシュプッシュスイッチ“ON”“OFF”
	保護接地端子
	内部に危険電圧有。カバーを外さないこと。
	注意：高温、触れないよう注意してください
	クラスⅡ機器
	可動部有：可動部に触れないよう注意してください
	注意：感電の危険有。すべての電源プラグをコンセントから抜いてください
	鋭利なふち有。鋭利なふちに触れないよう注意してください

MEMO

お使いの機種によっては表記されていないマークもあります。

●保守／点検について

定期的に本機を清掃してください。ホコリなどがたまると、正しく動作しないことがあります。お手入れをする際は、次の内容を必ずご確認ください。操作上問題が発生したときは、ユーザーズガイドの困ったときはを参照してください。それでも解決しない場合や点検が必要と考えられる場合には、販売店または担当サービスにご連絡ください。

⚠警告

- 清掃の前に、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。これをせずに清掃作業を行うと、火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグは定期的に抜き、付着したホコリや汚れを乾いた布で拭き取ってください。ホコリが湿気を吸って電流が流れ、火災の原因になることがあります。
- 清掃のときは、水で湿らせ固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤や、ティッシュペーパー、紙タオルなどは使用しないでください。これらが内部の電気部品などに付着すると、火災や感電、静電気発生の原因になることがあります。
- 電源コードや電源プラグは定期的に点検し、発熱、錆び、曲がり、擦れ、亀裂がないかどうか確認してください。損傷した状態で使用し続けると、火災や感電の原因になることがあります。

⚠注意

- 本体内部には高温／高電圧部分があり、むやみに手を触れるとけがややけどの原因になることがあります。マニュアルで説明されている以外の箇所に手を触れないでください。
- 用紙を補給するときや紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切らないように、注意してください。

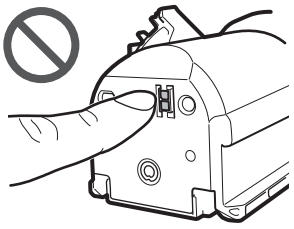
■消耗品について

⚠警告

- トナー容器や回収トナー容器は火中に投じないでください。また、トナー容器や回収トナー容器、用紙は火気のある場所に保管しないでください。引火して、やけどや火災の原因になります。
- トナーをこぼした場合は、トナー粉塵を吸いこまないよう、掃き集めるか濡れた雑巾等で拭き取ってください。掃除機を使用する場合は、粉塵爆発に対する安全対策がとられていない一般の掃除機は使用しないでください。掃除機の故障や静電気による粉塵爆発の原因になる可能性があります。

⚠注意

- トナーなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください。万一、トナーを飲んだときは、直ちに医師に相談してください。
- トナーが衣服や手に付着したときは、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れが取れなくなることがあります。
- トナー容器は分解しないでください。トナーが飛び散って目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入ったときは、直ちに水で洗い流し、医師に相談してください。
- トナー容器からトナーが漏れたときは、吸い込んだり直接皮膚につけたりしないように注意してください。皮膚についたときは、石鹸を使い水で洗い流し、刺激が残るときや吸い込んだときには直ちに医師に相談してください。
- 回収トナー容器を引き出す際は、落下に注意してください。けがの原因になる恐れがあります。
- スタンプインクカートリッジを交換するときは、インクで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れたときは、直ちに水で洗い流してください。
- 電気接点部には触れないでください。



ご注意

- トナー容器は直射日光の当たらない涼しい場所に保管してください。
- トナー容器を立てて保管しないでください。

■規格/規制について

この製品は、販売されている地域の安全規制に従って、以下の()内の名称で登録されていることがあります。

imageRUNNER ADVANCE C5560F-R/C5550F-R/C5540F-R (F166600)

●電波障害規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

なお、通信ケーブルはシールド付をご使用ください。

VCCI-B

●国際エネルギースタープログラムについて

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機器の省エネルギー化推進のための、国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。

電波法について

『本製品には、電波法に基づく工事設計認証を受けた特定無線設備(認可番号:007-AC0152)を用いています。』

電波に関するご注意

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止したうえ、お客様相談センター(お問い合わせ)へご連絡のうえ、混信回避のための処置など(たとえば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お客様相談センター(お問い合わせ)へお問い合わせください。

2.4 DS/OF 4

2.4　：2.4 GHzの周波数帯域を使用することを示します。

DS/OF　：変調方式にDS-SS方式およびOFDM方式を採用していることを示します。

4　：想定される干渉距離が「40 m以下」であることを示します。

――　：全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」「アマチュア無線局」帯域を回避可能であることを示します。

●高調波の抑制について

本機器はJIS C 61000-3-2 高調波電流発生限度値に適合しています。

●物質エミッションの拡散に関する認定基準について

本製品は、エコマーク基準の 物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。(トナーは本製品推奨トナーを使用し、印刷を行った場合について、エコマーク基準に基づき試験を実施しました。)

●情報セキュリティー規格(IEEE2600)について

本製品はIEEE 2600.1 CC 認証は取得しておりません。

4.付録

●原稿などを読み込む際の注意事項

著作物、通貨、有価証券、公文書などを原稿として読み込むか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられることがありますのでご注意ください。

著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製、加工することは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製すると、肖像権が問題となることがあります。

通貨、有価証券など

次のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 国債証券、地方債証券
- 郵便為替証書
- 郵便切手、印紙
- 株券、社債券
- 手形、小切手
- 定期券、回数券、乗車券
- その他の有価証券

公文書など

次のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

関係法律について

- 刑法
- 郵便法
- 著作権法
- 郵便切手類模造等取締法
- 通貨及証券模造取締法
- 印紙犯罪処罰法
- 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律
- 印紙等模造取締法

●資源再利用について

キヤノンでは環境保全ならびに資源の有効活用のため、リサイクルの推進に努めております。回収窓口が製品により異なりますので、以下の内容をお読みいただき、ご理解とご協力をお願いします。

使用済み複合機・プリンターの受け入れ場所について

使用済みとなった複合機・プリンターにつきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先に注意してご連絡願います。

キヤノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、回収されたオフィス用、使用済み複合機・プリンターのリサイクルを推進しています。

使用済みの複合機・プリンターの回収については、お買い求めの販売店、または弊社お客様相談センターもしくは担当の営業にお問い合わせください。

なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、廃棄物処理法に従い処分してください。

使用済みドラムユニット、トナー容器（カートリッジを含む）などの回収について

使用済みとなったトナー容器などにつきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先に注意してご連絡願います。

キヤノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、使用済みドラムユニットおよび使用済みトナー容器の回収とリサイクルを推進しています。

使用済みドラムユニット、トナー容器の回収については、担当のサービス店、または弊社お客様相談センターにお問い合わせください。

なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、トナーがこぼれないようにビニール袋などに入れて、地域の条例に従い処分してください。

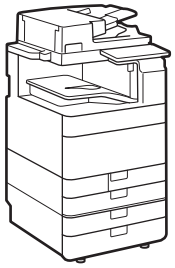
●お困りごと解決ガイドについて

画面について

文中で使われている画面は、特に注意書きがない限り、imageRUNNER ADVANCE C5560にオプションの「中綴じフィニッシャー・Y1」、「バッファパスユニット・L1」、「2/4穴パンチャーユニット・A1」、「2段カセットペディスタル・AM1」、「スーパー G3FAXボード」を装着したものです。なお、オプションの組み合わせによって使用できない機能もありますが、この場合、画面にその機能は表示されません。

イラストについて

文中で使われているイラストは、特に注意書きがない限り、imageRUNNER ADVANCE C5560にオプションの「2段カセットペディスタル・AM1」が装着されているものです。



商標について

本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

●第三者のソフトウェアについて

お客様がご購入のキヤノン製品（以下、「本製品」）には、第三者のソフトウェア・モジュール（その更新されたものを含み以下、「第三者ソフトウェア」）が含まれており、かかる「第三者ソフトウェア」には、以下1～8のライセンス条件が適用されます。

1.お客様が「第三者ソフトウェア」の含まれる「本製品」を、輸出または海外に持ち出す場合は、日本国及び関連する諸外国の規制に基づく関連法規を遵守してください。

2.「第三者ソフトウェア」に係るいかなる知的財産権、権原および所有権は、お客様に譲渡されるものではなく、「第三者ソフトウェア」の権利者に帰属します。

3.お客様は、「第三者ソフトウェア」を、「本製品」に組み込まれた状態でのみ使用することができます。

4.お客様は、権利者の事前の書面による許可無く、「第三者ソフトウェア」を開示、再使用許諾、販売、リース、譲渡してはなりません。

5.上記にかかわらず、お客様は、以下の条件に従う場合のみ、「第三者ソフトウェア」を譲渡することができます。

- お客様が「本製品」に関するすべての権利、および「第三者ソフトウェア」に関するすべての権利および義務を譲渡すること
- お客様から譲渡を受ける者が、「本製品」に附帯する条件に同意していること

6.お客様は、「第三者ソフトウェア」の全部または一部を修正、改変、逆アセンブル、逆コンパイル、その他リバースエンジニアリング等することはできません。

7.お客様は、「本製品」に含まれる「第三者ソフトウェア」を除去したり、「第三者ソフトウェア」を複 製してはなりません。

8.「第三者ソフトウェア」中のソースコードについて は、お客様にいかなるライセンスも許諾されません。

「本製品」には、上記1～8のライセンス条件にかかわらず、別途固有のライセンス条件が適用される「第三者のソフトウェア」が含まれます。「本製品」のプラットフォームバージョンをご確認のうえ、下記のホームページを参照していただき、該当するプラットフォームバージョンの取扱説明書に記載されている『付録』の『第三者のソフトウェアについて』をご確認ください。

https://oip.manual.canon/

「本製品」をご利用になられた場合には、お客様は、「本製品」に適用されるすべてのライセンス条件に同意したものとさせていただきます。お客様が、ライセンス条件に同意できない場合、担当サービスにご連絡下さい。

以上

V_201211

Memo

■お問い合わせ先について

本機についてのご質問や修理のご依頼は、お買い上げ販売店または弊社お客様相談センター、もしくは担当サービスへお問い合わせください。各種窓口は、キヤノンホームページ（https://global.canon）内のサポートページでご確認いただけます。

FT6-2752 (020)

XXXXXXXXX

Copyright CANON INC. 2023

PRINTED IN JAPAN